

## 人と関わる

イチョウやカエデの葉が色づき始め、秋の深まりを感じる季節となりました。四季を味わうには一番いい時期です。いつもの事ながら、この時期になると本当に時が経つのが早いと思います。カレンダーがあと2枚になりました！！人は人からの関わりなしでは生活して行けません。成長している企業は社内のコミュニケーションがよく図られ、上司と部下、同僚同士の関係がうまく保たれていると言われます。彩花は、よいコミュニケーションを築くために相手を思いやり、明るい笑顔で挨拶を交わすことを心がけて日々業務に励んでおります。これからもお客様と良い関係を築きながら成長していきたいと思っております。



## 女性スタッフが羽ばたける現場

女性スタッフがエアコン清掃に入った現場の話です。一般的なタイプのエアコンと聞いて清掃に入りましたが、パナソニックの機能付きと難しい機種だったのです。このタイプは複雑で、男性でも難しい機種です。その機種を自分の力で、ひとりで終わらせてきたのです。現場に行き、出来そうになかったら「出来ません」や「応援に来て下さい」というのが普通ですが、スマホで写真を撮って、一つ一つ確認しながら分解、洗浄して組み立てたとのことでした。これを聞いてビックリするやら、度胸が据わっているのに恐れ入りました。この機種のエアコン清掃ができれば、ほとんどのエアコン清掃はこなせます。出来ないという固定観念にとらわれず、挑戦するチャレンジ精神に敬服しました。最近、依頼が入ってきたとき「女性スタッフを希望します」という声が多くなりました。このようなお客様の声に「クリーン彩花」は対応が出来ると力強さを感じます。こんな女性スタッフが羽ばたける職場を作って行きたいと思っています。



## 信用のありがたさ

定期清掃に入った歯科医院様からクレームの電話が入りました。いつも担当している者が用事で休みの為、別のスタッフを手配していました。作業のポイントや手順は伝えていましたが、現場に間に合わない為、さらに別のスタッフが行き作業を行なったのが原因かもしれません。鍵預かりで作業をさせて頂いているので、いつも自分が鍵を返却しに行っているのですが、今回は担当者がいたのでまかせました。そうしたら、自分がクレームから逃げたと先生から担当者に言われたそうです。後日、手直しが終わりカギ返却に行ったらすごく怒られました。逃げた気持ちはなかったのですが、そう思われることが恥ずかしく、すぐ飛んで行くべきだったと反省しました。20年のお付き合いでいつも自分が責任もってやってきたことを先生は信頼して頂いているのだと感謝です。これからも創業者としていつまでもお付き合いしていただきたいと思っております。



## 心を磨く

掃除をしているときの自分は、いつもキレイな気持ちになります。掃除しながら、人を騙してやろうとか、誰かを陥れてやろうなど考えることはありません。また、人を憎んだりする気持ちになったことはありません。心を無にして純粋な気持ちで取り組めるのが掃除です。掃除は精神浄化作用があるように思います。とくに、汚いトイレをキレイにすると、気持ちがスッキリし、素直(純粋)な心になれます。素直(純粋)な心になると、不思議と先のことが良く見えるようになります。人間が心配のあまり不安な気持ちになり、悩み苦しむのは先のことが良く見えてないからなのです。素直(純粋)な心になり、先が良く見えるようになると、不安がなくなり、取りこし苦勞をしなくなるわけです。結果において、心が磨かれるのです。そんな訳で、掃除は仕事の原点であり、又、人としての心を磨く大事なことです。汚いなど思わず、胸を張ってやりましょう。まさに、我社の理念「商いを通じて人間成長」なのです。



# 本音でトーク②

喜瀬和美さん  
入社10年目B型



有吉由香理さん  
入社6か月目A型



## 最初は事務職、それがいつのまにか

【らく】喜瀬さんは10年になるそうですね。

【喜瀬】そうなんです、あっという間に。

最初は事務職だったんですが、「ちょっと現場に行ってくれる？」と言われて（笑）。

【らく】いろいろあったでしょうね。

【喜瀬】そうなんです。社長（当時）とはよく喧嘩もしました。何でも言える人で「福岡のお父さん」のような存在です。

【らく】有吉さんは6月からだそうですね。

【有吉】フリーペーパー応募です。前職が自宅から遠かったのが、家から近いというのが決め手でした。スタッフの皆さん話しやすくとても楽しいです。

【喜瀬】移動中の車中は女性同士とても盛り上がりやすいよ。

## 仕事は喜び。仕事は学び。

【喜瀬】お客さんからリピート注文をいただくと嬉しい。それにヨゴレが落とせた時は嬉しいし、それを喜んでもらえたら嬉しい。

こんな感じで仕事には喜びがたくさんです。

【有吉】チームリーダーによって段取りや手順が違うのが面白いです。いろいろ考えさせられます。

【喜瀬】年々、仕事が増えているので人も増えていますが、そのぶん現場での新人教育が結構大変です。でも、「教えることは学ぶことでもあり、自分の成長につながる」と思ってやっています。

## キツイことはあるけど、ツライことはない。

【らく】友達などから仕事のことを聞かれますか？

【喜瀬】ええ。どんな仕事してる？と聞かれ、「お掃除なんか、やめときなさいよ」といわれることもありました。「もう長いし・・・」と、とりあえずの返答をしてきたこともあります。でも最近はこの仕事が「当たり前」になってきたというのが実感です。

【らく】以前は「3K」という言葉も・・・

【有吉】そうですね、掃除の仕事ってやっぱり身体的にキツイことがあります。

でも、精神的にツライと思ったことはありません。

## “お小遣い”をいただくことも。

【らく】スタッフの皆さんはお客さまとのコミュニケーションがとても上手ですよ。

【有吉】初めてのお客さまからお茶をいただくこともあって、有り難いな～と思います。

世間ではお客さまとの間でトラブルが起きたり、ストレスに悩まされたりといろいろ大変なようですが。

【喜瀬】これで飲みものでも買ってくださいと

“お小遣い”をいただくこともあるんですよ。

何とも不思議な気分です。家に帰り子どもに「きょうはお小遣いもらったとよ」と報告し驚かれます。

## 掃除していて、損はない！

【喜瀬】どこでもそうですが、クリーン彩花でも人間関係などささいなことで“波”がたつことがあります。それをどう乗り越えるか悩ましく思うこともあります。悩んでも仕方ないことは考えない、仕事に集中するぞ！ということでやっています。

【有吉】よく話をするスタッフとそうでない人との差があるので、それを埋められたらいいなと思います。

【らく】コロナ感染も収まり加減だし、宴会コミュニケーションが復活できたらいいですね。

【喜瀬】お掃除は力を使うこともあるので、最近は何歳まで続けられるだろうかと思ったりもします。会社の平均年齢が上がってきているので、若い人に入ってほしいですね。

【らく】最後にひとことありませんか？

【喜瀬】10年を振り返り、「掃除していて損はない！」としみじみ思います。

